

(1) 結婚への支援

【施策の目的】

結婚や家庭についての若い世代の理解と関心を高めるとともに、多様な出会いの場を増やすことで結婚を望む男女の希望をかなえます。

【評価】

<前年度から評価実施年度上期までの成果と課題>

- ・市町村における結婚支援への取組については、多様な出会いの場の創出が進んだが、単独市町村の取組では対象地域が限定される等の課題が見られたため、広域化を支援し、複数市町村で開催する広域イベントの実施が進んだ。
- ・県内の婚姻数が年々減少している中であっても、しまね縁結びサポートセンターでは一定の婚姻数を維持している。
- ・お見合い件数について、「はぴこ」において、令和5、6年度は1,500件台まで回復したものの、コロナ禍前の水準には戻っていない。また、「しまコ」においては、令和3年度以降、300～400件台で順調に推移している。
- ・「はぴこ」や「しまコ」は結婚を希望する方の選択肢として十分に認知されているとは言えず、イベントやセミナー、SNS等の情報発信を通じた周知が必要である。
- ・小学生から大学生を対象として、命の大切さや親子の絆を学ぶことや、結婚・妊娠・出産・子育てなど、自らの将来について考えることを目的に講座を開催した。一方で、若手の社会人には、将来の結婚や子育て等のライフデザインを考える機会が不足している。

<第2期島根創生計画初年度から評価実施年度上期までの複数年度にわたる成果と課題>

※上記で重複しない成果・課題を記載

この欄は複数年度にわたる成果と課題を記載するため令和9年度から記載

【今後の方向性】

①市町村における結婚支援への取組の強化

圏域別ブロック会議や担当者会議などを通じ、市町村と縁結びサポートセンターの連携強化や、他市町村の好事例の横展開を進める。

参加しやすいイベントとなるよう、複数市町村による広域化を推進するとともに、結婚支援コンシェルジュ事業を通じて市町村を訪問し、課題聴取や助言を行うことなどにより、よりきめ細かなフォローアップを実施する。

②相談・マッチング機能の充実

「はぴこ」は、出会いイベントへの参画や、県や縁結びサポートセンターの広報媒体を通じた活動の紹介等により、認知度を高めていく。

「しまコ」は、若い世代向けにSNSを中心としたターゲット広報を検討し、新規会員、特に女性会員の増加を図り、会員全体のマッチングを促進する。

企業への支援として、独身従業員に対する婚活情報の提供やハラスメントへの配慮を学ぶ企業向け研修会の開催、企業が独自に実施する出会いイベントの支援等を行う。

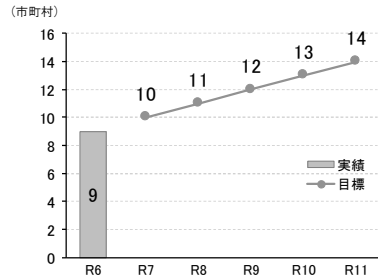
③啓発活動・情報発信の充実

SNSを活用し、婚活イベント等へ気軽に参加していただけるような広報の充実を図る。

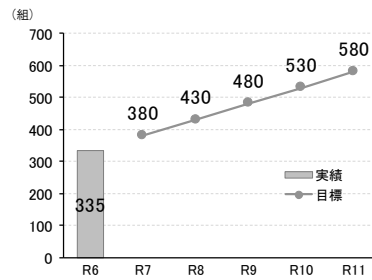
結婚支援コンシェルジュ事業を通じて、しまね縁結びサポート企業等の若手従業員に対して「ライフプラン設計セミナー」を開催し、将来の結婚生活を自ら考える機会を提供する。

【施策の主なKPIの状況】

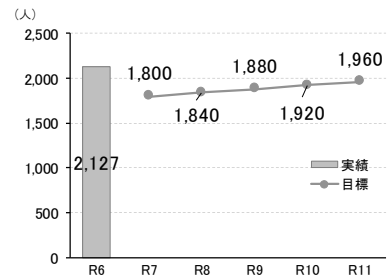
1) 県の交付金を活用して婚活イベントを実施した市町村数【当該年度4月～3月】



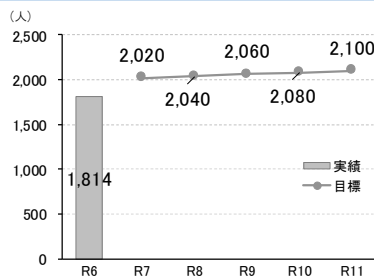
2) しまね縁結びサポートセンターを通じた婚姻数（R2年度からの累計）【当該年度4月～3月】（累計値）



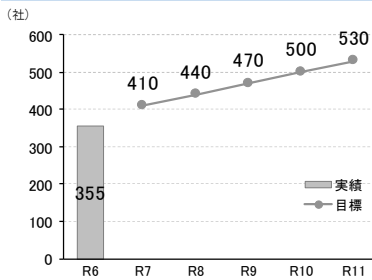
3) しまね縁結びサポートセンターを通じたお見合い設定人数【当該年度4月～3月】



4) 結婚を希望する「はぴこ」の相談登録者数及び「しまこ」の会員数【当該年度3月時点】（累計値）



5) しまね縁結びサポート企業登録数【当該年度3月時点】（累計値）



施策の主なK P I

施策の名称		Ⅱ-1-(1) 結婚への支援								
番号	K P I の名称	上段は目標値、下段は実績値					単位	計上分類	備考	
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度				令和11年度
1	県の交付金を活用して婚活イベントを実施した市町村数【当該年度4月～3月】	9.0	10.0	11.0	12.0	13.0	14.0	市町村	単年度値	
		9.0								
2	しまね縁結びサポートセンターを通じた婚姻数(R2年度からの累計)【当該年度4月～3月】	335.0	380.0	430.0	480.0	530.0	580.0	組	累計値	
		335.0								
3	しまね縁結びサポートセンターを通じたお見合い設定人数【当該年度4月～3月】	2,127.0	1,800.0	1,840.0	1,880.0	1,920.0	1,960.0	人	単年度値	
		2,127.0								
4	結婚を希望する「はぴこ」の相談登録者数及び「しまこ」の会員数【当該年度3月時点】	1,814.0	2,020.0	2,040.0	2,060.0	2,080.0	2,100.0	人	累計値	
		1,814.0								
5	しまね縁結びサポート企業登録数【当該年度3月時点】	355.0	410.0	440.0	470.0	500.0	530.0	社	累計値	
		355.0								

（第2期島根創生計画に掲げる施策の【取組の方向】）

①市町村における結婚支援への取組の強化

結婚を望む県民誰もが、結婚支援サービスを安心して気軽に活用できるよう、全市町村における相談・支援体制の維持・拡充を支援することで、全県における結婚支援サービスの充実を目指します。

②相談・マッチング機能の充実

しまね縁結びサポートセンターにおける縁結びボランティア「はぴこ」の活動支援やコンピュータマッチングシステム「しまこ」の利用拡大、多様な出会いの場の創出のほか、従業員の出会いや結婚を応援する企業等の取組の支援などにより、相談・マッチング機能を充実します。

③啓発活動・情報発信の充実

学校、企業などと連携して、子ども、学生、社会人などに向けて、結婚・妊娠・出産・子育てについて必要な知識を得たり、人生設計について考えるための講座などを実施します。また、結婚・妊娠・出産・子育てに関する情報を、利用者目線で分かりやすく一元的に発信します。

事務事業の一覧

施策の名称		Ⅱ-1-(1) 結婚への支援				
	事務事業の名称	目的		前年度の 事業費 (千円)	今年度の 事業費 (千円)	所管課名
		誰(何)を対象として	どういう状態を目指すのか			
1	結婚支援事業	結婚を希望する独身者	結婚を希望する独身者の出会いの機会を増やすなど、結婚の可能性を高める。	128,700	187,351	子ども・子育て支援課

事務事業評価シート

1 事務事業の概要

担当課 子ども・子育て支援課

事務事業の名称		結婚支援事業			
目的	誰(何)を対象として	結婚を希望する独身者	事業費 (千円)	令和6年度の実績額	令和7年度の当初予算額
	どういう状態を目指すのか	結婚を希望する独身者の出会いの機会を増やすなど、結婚の可能性を高める		うち一般財源 (千円)	128,700
令和7年度の取組内容		・結婚支援コンシェルジュ(民間委託)により、市町村や縁結びサポート企業へのきめ細やかなフォローアップを行うほか、各世代に応じたライフデザイン講座や、社会人向けの結婚に関する情報発信、広域的な出会いの場の創出等を一体的に実施 ・しまね縁結びサポートセンターを通じた縁結びボランティア「はびこ」の活動支援、しまねコンピューターマッチング「しまこ」の利用促進 ・市町村間の連携強化や市町村向け交付金の広域メニューの活用などにより、市町村事業の広域化を推進 ・定住施策と連携した県外在住者向け出会い創出イベントの実施 ・従業員の出会いや結婚を応援する「しまね縁結びサポート企業」の取組への支援			
令和6年度に行った評価を踏まえて見直したこと		・しまね縁結びサポート企業向けの支援が情報提供のみにとどまっていることを踏まえ、企業向け研修会の開催、従業員の出会いに向けた取組への支援を創設			
1	上位の施策	Ⅱ-1-(1) 結婚への支援	3	上位の施策	
2	上位の施策	Ⅳ-3-(2) 安心して家庭や仕事に取り組むことができる環境づくり	4	上位の施策	

2 KPI(重要業績評価指標)の状況

KPIの名称		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	単位	計上分類
1	県の交付金を活用して婚活イベントを実施した市町村数【当該年度4月～3月】	目標値			10.0	11.0	12.0	13.0	14.0	市町村	単年度値
		実績値	9.0	9.0							
		達成率	-	-	-	-	-	-	-		
2	しまね縁結びサポートセンターを通じた婚姻数(R2年度からの累計)【当該年度4月～3月】	目標値			380.0	430.0	480.0	530.0	580.0	組	累計値
		実績値	280.0	335.0							
		達成率	-	-	-	-	-	-	-		
KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実		・県内婚姻件数の推移 R3年:2,337組 R4年:2,167組 R5年:2,095組 R6年:1,982組 ・「はびこ」によるお引き合わせ件数 R3年度:1,316件 R4年度:1,435件 R5年度:1,590件 R6年度:1,522件 ・「はびこ」による交際件数 R3年度:374件 R4年度:429件 R5年度:402件 R6年度:381件 ・「しまこ」会員数 R3年度末:603人 R4年度末:732人 R5年度末:749人 R6年度末:687人 ・「しまこ」によるお引き合わせ件数 R3年度:327組 R4年度:402組 R5年度:340組 R6年度:345組 ・「しまこ」による交際件数 R3年度:134組 R4年度:157組 R5年度:129組 R6年度:131組									

3 現状に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組による改善状況	・「はびこ」によるお引き合わせ及び交際件数は、コロナ禍によりR3年度までは減少したが、R4年度以降は回復傾向にある ・「はびこ」の活動支援費を引き上げ、はびこ活動の支援を拡充した ・「しまこ」による成婚件数が、R6年度に過去最多の18組となった ・しまね縁結びサポートセンターを通じた婚姻数が前年比増となった ・複数の市町村が連携した広域イベントが2市で実施された
課題分析	① 課題	・「はびこ」や「しまこ」の認知度が依然として低い(R5結婚意識調査) ・結婚希望のある独身者の約半数が未婚理由を「相手がいらない、めぐり合わない」としているが、婚活をしている割合は約2割にとどまっている ・複数市町村が連携した広域イベントへの県交付金利用実績が少ない ・社会人向けライフプラン設計セミナーの応募者数が少ない ・しまね縁結びサポート企業の登録数が伸びていない ・婚活イベントの内容が定型化しており、女性の応募者が少ない傾向にある
	② 原因	・結婚を希望する独身者へ県(縁サポ)の取組内容が十分に周知できていない ・「めんどくさい」「自信がない」を理由として婚活をしていない割合が高い ・市町村間の連携が十分に進んでいない ・西部や隠岐地区ではセミナーの主な対象である若い世代へのリーチが不足している ・制度の周知不足や、サポート企業とのコミュニケーションが不足している ・婚活イベントについては、男女ともにランチやお茶会などの希望が多いものの、女性では観光地等での散策をや創作体験などを希望する声も多く、多様化するニーズへの対応ができていない
	③ 方向性	・県の重点広報の活用やSNSでの情報発信強化、また「はびこ」自らがイベント参加者にPRする機会を設ける ・SNSやイベントなどにより、若年層の婚活意欲醸成を図り、出会いの場への参加や「はびこ」「しまこ」登録へつなげる ・市町村担当者のスキルアップ研修のほか、近隣市町村を集めた圏域ブロック会議にて好事例を共有・検討するなど、連携を促進する ・商工会等の関係機関への周知強化や、県のSNSによる広報の実施、市町村との共催や企業等への出前講座として開催するなど、効率的な集客方法を検討する ・訪問時のアンケート等により各企業から意見・課題等を聴取し、企業内活動への助言等を通して、活動の活性化と登録促進を図る ・従来から取り組んでいる婚活イベントに加え、様々な体験型の婚活イベントやメタバース婚などが効果的に実施できるか検討する

